

三条教区通信

第123号

発行日 2017年10月11日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

ねてもさめても

へだてなく

なむあみだぶつ
南無阿弥陀仏を

となうべし

『正像末和讃』親鸞聖人

All should say Namu Amida Butsu constantly,
whether they are awake or asleep..

*Pure Land Hymns on the Right, Semblance,
and Last Dharma-Ages, Shinran Shonin*

三条教区災害対策委員会のお知らせ

災害支援実行委員会の 活動資金にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は89,227円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研修会のご案内

青年教化プロジェクト ほうおん 開催案内既送

- ◆日時 2017年10月15日(日)16:00～
- ◆場所 木揚場教会
- ◆参加費 1,000円
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

教区坊守研修会 開催案内同封

- ◆日時 2017年11月30日(木)12:30～
- ◆場所 三条別院旧御堂
- ◆講師 三橋尚伸氏(真宗大谷派僧侶・産業カウンセラー)
- ◆参加費 1,000円(茶菓子代含む)
- ◆対象 坊守、前坊守、准坊守、若坊守
- ◆申込先 各組坊守会長へ11月22日(水)までに
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

秋安居 開催案内同封

- ◆日時 2017年12月4日(月)～5日(火)
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 大桑 齊氏(2017年度安居本講師)
- ◆講題 『蓮如上人御一代記聞書』試論
- ◆テキスト 2017年安居本講
『蓮如上人御一代記聞書』試論
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆受講証 第2種発行(教師陞補のために一枚必要)
- ◆事前学習会 4回開催しテキストをすべて輪読します
11/10、17、24、12/1 14:00～於教区同朋会館
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

教区推進員教習 開催案内同封

☆前期教習☆

- ◆日時 2017年12月9日(土)～10日(日)
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆締切 2017年11月15日(水)
- ◆参加費 5,000円(研修冥加金・食費・宿泊費)

☆後期教習☆

- ◆日時 2018年4月8日(日)～10日(火)
- ◆場所 東本願寺同朋会館(京都)
- ◆講師 塚本智光氏(第18組 等運寺住職)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

法灯の集い 開催案内既送

- ◆日時 2017年12月12日(火)～13日(水)

- ◆会場 寺泊岬温泉ホテル飛鳥
- ◆講師 今泉温資氏(往生人舎主宰)
- ◆講題 「今現在説法」～記憶と記録の世界～
- ◆参加費 懇親会、宿泊、朝食込みの方 13,000 円
懇親会出席で宿泊無しの方 7,500 円
聴講のみの方 1,000 円
- ◆対象 推進員・どなたでも
- ◆申込み 2017年11月20日(月)まで
- ◆問合せ 三条教務所(藤波)

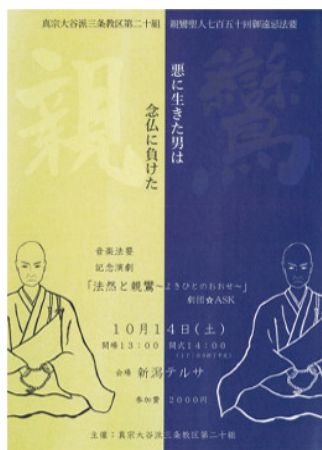
■ 教学研究会 開催案内後送

- ◆日時 2018年3月5日(月)～6日(火)
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺住職)
- ◆内容 『教行信証』化身土巻
- ◆参加費 500 円
- ◆対象 どなたでも
- ◆受講証 第2種発行(教師陸補のために一枚必要)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 化身土巻輪読会

- ◆内容 藤場俊基著『親鸞の教行信証を読み解くIV』の輪読
- ◆日時 毎月末 16:00～17:00 頃 … 次回 10/26 (木)
- ◆場所 三条教区同朋会館
- ◆対象 どなたでもご参加ください。
- ◆申込み 不要です。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 「第20組 親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」ご案内



駐在教導 西山郷光
先月の全寺院発送にて開催チラシをお送りさせていただきました「第20組 親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」が10月14日(土)14時、新潟テルサにていよいよ勤修されます。

この度の第20組御遠忌は音楽法要ののちに記念演劇という構成となっております。

音楽法要は、仏教讃歌に和訳正信偈(当日パンフレットに掲載されます)を取り入れ、これまで真宗とのご縁の少ない方にも入りやすく、従来のお勤めに親しんだ方には新鮮なものとして受け止めていただける法要になっているのではないかと感じます。

演劇「法然と親鸞～よきひとのおおせ～」は、三条別院でのシアターサンジョーゴボーにも協力いただいている劇団☆ASK(アスク)の協力のもと、法然上人と親鸞聖人の出遇いを中心に架空の登場人物をも創作して制作

されたそうです。スタッフとして制作に携わられた一人、朝倉ご住職(金寶寺)は、「悪に生きた男が念仏でいかに救われたかが見事に表現されたシナリオになっています」と語ってくださいました。

みなさま是非お参りください。

- 日程: 2017年10月14日(土)
- 13:00 開場
- 14:00 音楽法要
- 15:00 記念演劇
- 17:00 頃 終了予定

会場: 新潟テルサ
新潟市中央区鐘木 185-18
TEL 025-281-1888

入場チケット: 2,000 円(全席自由)

お問合せ: お近くの真宗大谷派三条教区第20組寺院または西養寺(新潟市江南区酒屋町530 TEL 025-280-2593)まで

※当日券もありますので、ぜひお越しください。

教務所からのお知らせ

◎『教区報』75頁 得度式受式者の訂正とお詫び

教区からの全寺院発送9月度にて教区報75頁の「得度式受式者」の訂正版をお送りしましたが、尚誤りがありました。下記のとおり訂正いたし、お詫び申し上げます。また、本号に差し替え頁を再度同梱させていただきます。

度重なる訂正によりご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1 75頁「得度式受式者」について
名簿中、井上和人様の所属組について誤植がありました。以下のとおり、訂正いたし、謹んでお詫び申し上げます。

(誤) 第16組 (正) 第20組

◎法務お手伝いの募集について

新潟市中心部の御寺院で法務手伝いのできる方を探しています。

ご希望の方は教務所(TEL 0256-33-2805 担当 結城)までご連絡ください。

◎厚生年金保険・健康保険の加入状況調査について

前回2016年11月に日本年金機構(受託事業者:日立トリプルウィン株式会社)により全国的に行われました調査に続き、本年9月に各地方出先機関である年金事務所により再び調査が行われているとの報告がありましたので、以下にその概要並びに加入に係る宗教法人への影響についてお知らせします。

文書名: 厚生年金保険・健康保険の加入状況の調査について(お願い)

宛名： 代表役員 様
 発信者： 日本年金機構 ○○年金事務所長
 要旨： 「法人事務所(被保険者 1人以上)[中略]は、社会保険に加入することが義務づけられています。」

「関係機関から事業所情報の提供を受け、事業を行っていると思われる事業所を対象に社会保険制度の加入状況等を確認させていただいております。」「関係機関とは国税庁(税務署)のこと。年金事務所からの情報による」

「同封の『厚生年金保険・健康保険の加入状況にかかる調査票』にご記入いただき、平成 29 年〇月〇日までに、ご返送いただきますようお願いいたします。」

加入の最終的な判断は、各法人(寺院・教会)でしていただかなくてはなりません、従来お知らせしておりました制度加入による影響に関する宗派からの通知内容について、以下に再度掲載いたしますので慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

厚生年金保険・健康保険制度加入に係る宗教法人への影響(2015年7月 第97号掲載)

- 老齢年金が退職後、国民年金に比べて多く支給される。
- 国民年金と比較して障害年金の認定基準が低い。
- 国民年金の場合、遺族年金については 18 歳未満の子どもがいる妻だけが支給対象であるが、厚生年金の場合は、受給できる条件が多い。
- 健康保険から疾病・怪我及び産前産後等で業務に就けない時の手当金がある。
- 保険料は労使折半のため、個人が納めた保険料以上の保障が見込める。
- 厚生年金では、配偶者の国民年金(基礎年金)分を扶養することができ(追加保険料無)、また、健康保険では、扶養者が増えた場合も保険料は増加しない。(国民健康保険は家族を追加する場合保険料が増額する。)
- 住職以外の職員については老後や生活の保障となるため、福利厚生となる。
- 保険料が労使折半のため、住職個人だけでなく、寺院会計の負担に繋がることより、寺院の運営に支障をきたす恐れがある。
- 一度適用事業所となると、適用事業所を解除することができず、保険料の支払い義務が生じ、滞納すれば寺院財産の差押さえが行われる可能性がある。
- 住職には、一般的に定年退職がないため、法務等の収入がある限り、70 歳まで保険料を支払っても老齢年金について受領額の一部若しくは全額がカットされる。

- 住職の場合、病気や怪我で休養が必要な場合であっても、法務収入がなくなる限り傷病手当金が支給されない。
- 必要な備付書類(出勤簿、賃金台帳等)があり、事務量が増える。

◎東本願寺出版 書籍のご紹介

法事のころ③ 亡き人をご縁として



法事を迎えあらためて亡き人と向き合うことを通し、仏法にふれ自分の人生をたずねるリーフレットです。

法事の際にご門徒や参拝された方にお配りし、お話のきっかけにさせていただきます。

価格：864円(税込)
 判型：縦150mm×横302(三折)
 1セット50部入り

浄土真宗 仏教・仏事のハテナ?

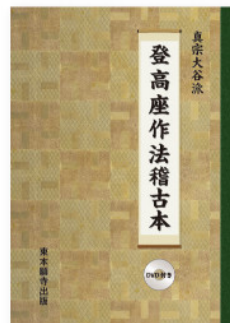


毎日のお内仏の御給仕や、法事、突然の葬儀、このようなときに迷われたことはありませんか?

参拝接待所・大谷祖廟・東本願寺の各窓口に寄せられる声を参考に、多くの方が仏教・仏事に対して持たれている疑問をQ&A形式で簡潔に答えしていきます。

価格：648円
 頁数：120頁
 判型：B6判

真宗大谷派 登高座作法稽古本(DVD付き)



本山初の登高座についての解説本です。

本文中に読み仮名や読法を示し、所作法は図と写真で解説しています。

また、本文に沿って所作法を開設したDVDが付属していますので、登高座の稽古・所作の確認に活用できます。

なお、本書は独習用に発行されたものではありませんので、正しい作法の習得には本山主催の登高座作法講習会にて伝授を受けてください。

価格：4,860円
 頁数：112頁
 判型：B5判

◎教区行事予定表 2017年

10/12(木) 14:00	教化センター
10/13(金) 13:30	坊守研修会部門会議
10/14(土) 14:00	真宗学院
10/15(日) 15:30	ほうおん!(木揚場教会)
10/16(月) 15:00	災害支援実行委員会
10/17(火) 10:30 15:00	女性研修会部門会議・学習会 東北連区保育大会実行委員会
10/19(木) 14:00	企画委員会 教化センター
10/25(水)	別院おみがき奉仕
10/21(土) 14:00	真宗学院
10/26(木) 14:00 16:00	教化センター 化身土巻輪読会
10/28(土) 14:00	真宗学院
11/5(日)	～8日 三条別院お取り越し報恩講
11/9(木) 14:00	教化センター
11/10(金) 14:00	秋安居事前学習会①
11/11(土) 14:00	真宗学院
11/15(水) 14:00	企画委員会(予定)
11/16(木) 14:00	教化センター 推進員教習部門会議
11/17(金) 14:00	秋安居事前学習会②
11/18(土) 14:00	真宗学院
11/24(金) 14:00	秋安居事前学習会③
11/25(土) 14:00	真宗学院
11/30(木) 12:30	教区坊守研修会
12/1(金) 14:00	秋安居事前学習会④

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

八月、三条別院の夏の人生講座を聴聞させていただいた(コラボパンが食べたかったので頑張って全日程参加した)。そこでふと、夏の人生講座をお聞きしている自分自身の聞法における姿勢について二つほど意識したので、つぶやこうと思う▼まずひとつめ、自分が法話をする側に立った場合のシミュレーションをしていた▼導入のあり方、動きや声の抑揚、板書などなど、どうすればより言いたいことが伝わるか、また伝えられるように自分の緊張を解けるか、聞いている立場の方が聞きやすいと思うか、などを検討する材料として聞いていた。とほほのほ▼さてふたつめ、法話者の値踏みをしていた▼現在の僕の立場が駐在教導であるせいだと思うのだけれど「この方は、法話者として他所に紹介するに足るか」という視点で聞いていた。なんとも醜悪なことである。なにより、教えに対して失礼な態度と思われた▼この二つの姿勢両方とも「こんなことではいけないなあ」ということです▼でも、あの時私はそうだったのである。この告白こそが凡夫の自覚である、と思ってこんなことを書いている。みなさんにとっても失礼なことであるので、全寺院発送の教区

通信で書いていいことでないかもしれない。でも書く。我が身の表白だ。書いてしまう▼あーでもやめた方が良かったかな。怒られるかな。まあいいや、すいません。書きました▼さて、かつての自分の聞法の姿勢はこんなことではなかった。自分が助かりたくて、その術を必死に得ようとして法話を聞いていた。本当の本当は、法話なんてあてにはしていなかったけれど、あてにしていなくて飛び込んでくるようなものを期待して身を置いていた▼思い返してその頃の僕の「助かりたい」という思いを別の言葉にすると、「どのようなものに定まりたい」という事だったように思う▼今、僕はある程度は定まっている。もう41歳になったけれど「四十にして惑わず」である。惑わなくなったのではなく、惑い続ける自分であり続けることで良かったんだな、というところに定まった。まあこれだっけ▼すぐに崩れるのかもしれないけれど、ともかくも、現在は定まったと感じられている。これは、み教え(を伝えて下さった先達)のおかげであり、家族(嫁さんと子どもです)のおかげでもある。どちらもだ▼さて、そんな自分になると、聞き方は変わってしまう。職業というか、立場も変わったけれど、自分の生きる姿勢も変わった。そして、聞き方が変わった▼さてさて、何が書きたかったのだけ▼法話ってなんでしょか。ということかな▼初事として法話を聞く。そして初事の念仏を申す。いつでも初事です。これが法話を聞く姿勢というものです▼本当かな。そうなるように意識したり、努めたりすることが無駄なのかはわからないけれど、少なくとも夏の人生講座の時、僕はそういうふうには法話を聞いていなかった▼聞いていなかったと自覚するところに、すでにそのような僕に向けられている阿弥陀の願心を感じる。と意識することで、あたかも自分が阿弥陀の願いにかなった念仏を申している、と錯覚する。という自覚をもって、完全な孤独体である私に阿弥陀との接点があるかのごとく勘違いして安心する。云々云々。これは客観視スパイラル、とかいうそうです▼なんといいますか、仏法は言葉で伝えるようなものではないのかもしれませんが。身も蓋もない所感ですが。すいません▼それでは、閑話休題。ここからが本題▼南無阿弥陀仏

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com



三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

昨年十一月、三條市本町一丁目、地元の方々に愛されるパン屋さんを目指し「Bakery & Sweets Coronet」をオープンしました。

あまり宣伝せずにオープンしたにも関わらず、三條中央商店街の中にあることもあり、近所の方々に大変可愛がって頂いております。

商店街の近くに私の祖母の家があり、幼少期には毎日のように別院のお堂の周りや、松葉幼稚園の遊具で遊んでいた事を今でもよく思い出します。お取り越しも毎年の楽しみでした。

そんな、古くからの思い出が残る別院さんから【2017年8月 三條別院 朝の人生講座「生きる」】にて、講座を聞きに来た方へ配布する朝食用のパンを「せひ、コロンネットのパンで！」と、有り難いお話を頂きました。私共初の共同開発という事で少々不安もありましたが、別院さんからたくさんアイディアを頂き、当店自慢の小麦と、こだわりのトッピング、別院さんからのアイディアを活かしたパンを開発することができました。商店街の数ある店舗の中から当店を選んで下さりましたことを、感謝申し上げます。

例えば、三條別院が「御坊さま」と呼ばれていると聞き、「ごぼうをトッピングした」ごぼう

(御坊) サラダパン。また、親鸞聖人があずきが好物だったという事で、たくさんあずきを捻じり入れた「大納言スネイク」の二種類を開発しました。このパンはどちらにも国産小麦に黒ゴマをたっぷり練りこんだ、口に入れた途端香ばしさの香る、当店自慢の「ごまパン」を使用しておりますので、生地的美味しさもお楽しみ頂けることかと思えます。

後日、お客様から「三條新聞にコラボパンの事、載っていたよ」「コラボパン別院さんでもらって食べたよ」「別院さんで食べたパンが美味しくて来ました」などという暖かいお言葉も頂戴し、お店の名前を知っていただけの機会に恵まれるのと同時に、私共も、今以上にもっと美味しいパンを皆様にお届けしたいという意識を再確認する事ができました。

当店はまだオープンして一年も経たず、歴史ある商店街の中では新入りですが、今後も三條中央商店街が明るく、多くの人で賑わうものになる様、少しでもお手伝いできたらと思いい日も営業しております。

そして引き続き、三條別院さんで行われる秋彼岸会人生講座でも、前回の二種類コラボパンに加えて別院さんのイメージカラーである「グリーン」を取り入れるというアイディアにより、「野沢菜クリームチーズ」が完成いたしましたし

た！

スイーツ＆ベーカリー コロンネット

新潟県三條市本町1丁目2-118

電話 0256-46-8329

○次回の「三條別院に想う」は、

本町中央商店街の方より

ご執筆いただきます。

▲本町通りに昨年オープンしたコロンネットさんには、八月と九月の朝の人生講座で、オリジナルのパンを作っていたとき、人生講座に彩を加えていただきました。さらに十一月のお取り越し報恩講に向けて、三條中央商店街と「お土産発掘ぐらんぷり」「名物食いだおれ選手権」「超難解スタンプラリー」を計画しています。現在計画ですが、ホームページで情報を更新していくのでぜひご覧ください。





九月十九日(火)から二十一日(木)まで三条別院秋彼岸会が行われました。人生講座と中日の法話の抜粋と、その他の報告を行います。毎日午前六時から朝の人生講座、今年のテーマは煩惱三人の僧侶が、人生において煩惱とどう向かい合ってきたのか等を語りました。仏教では三つの根本煩惱を人間を苦しめる「三毒(さんどく)」と表現します。その三つとは、貪(おぼれ)、瞋(いらだち)、癡(おろかさ)です。

▲九月十九日(火)「貪」、菊井英信氏(第十五組稱名寺、写真上)。北海道出身の菊井氏は、北海道でニシンやカニがとれなくなったことの原因は、ニシンがとれすぎて、「食、べるのではなく油をとっていた」という状況が生まれたように、欲を貪ったことであると説明されました。欲がなければ人間は生きられないが、問題は「欲を貪る」「貪欲」ことなのであり、「欲を貪っている」自分のはつきりしているかどうか課題なのだと言われました。

▲九月二十日(水)「瞋」、渡邊智龍氏(第十八組恩長寺、写真中)。月参りにかけるときに玄関が散らかってきたから片付けようと思っていた矢先に、奥さん(坊守さん)

から「玄関が散らかっているから片付けてよ」と言われ、そんな些細なことで腹がたつた(怒り)「瞋恚」ことなどをあげ、対処法は我慢することではなく(我慢は限界がある)、根本には自己中心的な「思い通りにしたい」という心があり、①理解



【三条別院有志の会・庭講のみなさん】

解すること(怒りの対象を本当に自分が変えることができるのか)②自らの非を認める(自分にも悪いところがあったのではないかを考える)ことが必要ではないかと語られ、「煩惱で自分が苦しんでいることに気がつくことが自覚ということ」と言われ、しかし、前住職(奥さんの父親)から「煩惱は頭で考えたものでなく腹からでてくるのだ」と言われたように、常に生活の中に染みついていて複雑なのが煩惱なのだと言われました。

▲九月二十一日(木)「痴」、池田陽氏(第十八組長周寺、写真下)。人間は反省できると思っているが、仏教を聞かない・興味のない人は「煩惱以外のところはありませんよ」というのが仏教の人間観で、愚痴(道理に暗いこと)の対処法は「縁起観」だと言われました。私は縁によってあるために本来私はどこにもないが、あると思っ

一文が嫌いだと言われたそうです。理由は「自分は教養のある人間だから、無知だといわれたくない」。私たちはその人を笑うことはできませんでしょうか?と問いかけられました。朝食として今回も八月同様、本町のパン屋コロネットと協力してパンを配布しました。今回は列座の衣体や越後の水田の「緑」をイメージした「野沢菜クリームチーズ」を新たに開発してもらいました。受付とパンの配布は、今年も三条別院有志の会の皆さんに早朝からお手伝いいただきました。二十日は日中法要(永代経総経)の後に西光寺(高田教区)の豊島信氏に二座お話しいただきました。高田別院で『歎異抄』を講義している豊島氏。三条別院でも昨年一月から毎月二十八日に「『歎異抄』に聞く」のテーマの法話会を開いていますので、『歎異抄』中心にお話しいただきました。「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」という『歎異抄』における「凡夫・悪人・煩惱」の内容を、ハンナ・アーレントがホロコーストというユダヤ人大虐殺の中心人物だったナチス幹部のアイヒマンの裁判を傍聴し、「上の命令に従っただけ、最初は悪いと思っただけが慣れてしまった」という言葉などを聞き、それは「凡庸な悪」であったと言ったことと結び付けて語られました。世間の考え方は「従因向果」であり、それは欲求を満たす方向。実は「今が不満足」ということで、ほんとうの「満足」ということは真宗で



【豊島信氏】

教える「正定聚」ということで、それは三十年間聞法を続けてきた人も、昨日聞き始めた人も、赤ちゃんを抱いている人も杖をついている人も、だれでも入れる世界なのだ」と語られました。さらに、今回の秋彼岸会をはじめ、御虫干し展を行い、三



【精進弁当は衆楽館】

条別院書道教室の木原光威先生や三条歴史研究会等の専門家の力を借りて解読しました。また、今回からお斎を御遠忌弁当協力店で順番にお願いしていく計画で、衆楽館の精進弁当（聖人とななかの人々）も非常に美味しいと評判でした。



掛軸を解読する木原先生（右上）、三条歴史研究会（右下）
19日法話の田部賢司氏（左上）、21日法話の大滝充弘氏（左下）

いろいろな方に協力していただいた秋彼岸。そして、十月を迎えるといよいよお取り越し報恩講の準備が本格的にはじまります。（斎木）

宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

◆なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 十月二十八日（土）午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下 念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

日下部文典氏（第十四組蓮壽寺）【第二章】

▲昨年一月より、「歎異抄」に聞く」をテーマに、各講師一章ずつ担当してお話しいただいています。九月より改めて第一章からはじまりましたので、ぜひご参詣ください。

◆今後の講師一覧

テーマ 『歎異抄』に聞く

十一月 村山まみ氏（第十一組願興寺）【第二章】

十二月 堀川秀道氏（第十六組浄専寺）【第四章】



定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より（二時間程度）

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師

九月〜十二月 細川好圓氏（第十七組護念寺）
（十月のみ） 池田陽氏（第十八組長周寺）
「和讀から学ぶ浄土真宗」

▲今回は親鸞聖人のご和讀を四首講師に選んでいただき、書道教室講師（木原光威氏）のお手本を参考に書写してからご法話をお聞きます。



（撮影 細川敏祐貴氏）

秋の別院奉仕研修会（おみがき奉仕研修）

- ◆日時 十月二十五日（水）午前十時から
- ◆内容 仏具のおみがき・堂内清掃・境内地清掃
- ◆参加費 無料。昼食は別院が用意します。
- ◆申込方法 教区推進員・有志の会・庭講には個別に案内していますが、どなたでもご参加できますので、十月二十日（金）までにお申し込みください。

その他の講座案内

○別院声明教室（全五回・途中参加可能）

- 〔月一回、午後六時～八時〕
- 八月三十一日（木）〔済〕、九月二十五日（月）
- 十月十六日（月）、十一月十五（水）、十二月十三日（水）
- 講習内容 真宗大谷派勸行集（赤本）
- 講師 永寶晴香氏（第十組 浄敬寺）
- 参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

- 〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕
- 講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）
- 月謝 二七〇〇円（テキスト代含む）



随時募集中

○別院奉仕研修

- 日程及び内容についてはご相談ください。
- ◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日一五〇〇円
- ◎食事代（昼・夕食は業者発注）
- ・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊（絵像）をお迎えして、聞法会を開催しませんか？輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

○別院収骨・永代経・申経

ご都合に応じて常時承りますので、ご連絡ください。詳細はHPまたは教区報でご確認ください。

◆編集後記◆

八月のお盆すぎから朝の人生講座・夏の御文拝読、九月は秋彼岸会、インド・ラダック舞踊公演会、十月は本寺小路あかり物語や工場の祭典など、行事が立て続きであり、並行してお取り越し報恩講の準備。「なんとかして別院を盛り上げたい」と職員一同勤めているが、頭と体が疲弊してくる。高田別院の報恩講が十月八日に御満座を迎え、そこで購入した佐野明弘先生の『「真宗門徒」ということは』には「私たちの思考は堅（たて）型である。そして望むものは上なんです」とあり、それが自他を苦しめている疲弊の問題なんだよな...ともやもやする毎日である。

話は少しかわるが、八月に小千谷の淨照寺さんのところで名倉幹さんというニュー YORK で布教している僧侶の話聞いた。布教の一環として「静坐」をとりいれているという。静坐は岡田虎二郎がはじめた「心身を正しく生かす道」であり、

金子大榮も実践していたという。自力と他力のはざままで明治時代の念仏者ももがいていたのだといろいろ考えさせられたが、名倉先生が、「静坐の時は、足の甲と甲を重ねて、禅宗でいう座蒲のように高くすることで骨盤が立てられる」と言われ「はつ」とした。今声明を教わっているが、「姿勢が悪いのがおつていない」と言われ、その声明を習う部屋に清沢満之の書が掛けてあり、「なるほどこのお寺の先祖は清沢満之の門下生で、金子大榮同様静坐をならつていて、声明の時に腰を入れる秘訣は足の甲と甲とを重ねることなんだ」と感じ、次に声明を習いに行つたときに「そういうことなんですわね」といったら、「全然違う。普通に親指を重ねてる。腰を入れて少し前傾にするだけなんだ」と言われた。そうするといひ感じになった。適当な仮説や空回りで頭の中はまったくまとまらなく、心と身体は静まることなく、迷走する毎日である。

（齋木）



【あかり物語の雅楽演奏会とバレエの様子】